

令和4年4月20日

兵庫県知事 斎藤 元彦 様

〒666-8501 川西市中央町12番1号

072-740-1266

川西市議会 川西まほろば会

令和4年度 兵庫県に対する重点要望について

件名につきまして、下記の通り要望いたします。川西市の発展、子ども達の健やかな育みのために、お力添え賜りますようお願い申し上げます。

記

要望1. 小中学校における教員不足への対策について

<要望趣旨>

学校現場ではコロナ以前から教員不足が大きな課題です。昨今、学校現場ではプログラミング教育や英語教育の教科化、令和4年度から段階的に導入される兵庫県型学習システムへの対応、また、配慮が必要な児童生徒の増加、いじめ対応に保護者対応など、様々な変化や難しい課題に対応しています。このような状況下にあっても、優秀な人材を確保し、子ども達のためにより良い教育環境を担保するためには、国への一歩踏み込んだ働きかけ、県における柔軟な対応が必要不可欠です。

<要望内容>

- ・国に対しては、教員の働き方改革をより一層促進させること、また、給与水準を上げることを強く要望していただきたい。
- ・通常の学級に在籍する学習障害、注意欠陥・多動性障害等の児童生徒に対する支援として臨床心理士等の専門的な巡回相談員の配置、兵庫型学習システムの導入に伴う専科教員の加配措置、発達障害児の支援充実のための通級指導担当教員の加配措置、問題行動等の増加や深刻化、別室登校の状況などへの対応としての生徒指導担当教員や不登校担当教員の加配措置、支援地域拠点校に配置されている学校生活支援教員の配置拡充、教頭の過重な負担軽減のための加配教員の配置、教職員の負担軽減や子ども達の学びの保障に注力できる時間の確保、コロナ対策などへの対応としてのスクール・サポート・スタッフの拡充をされたい。

以下次葉

- ・令和元年に免許外教科担任を解消するための免許外解消加配制度が示され、現在、6~8 学級規模の学校においても時間講師の加配が可能となったが、この制度には地域限定条件があり、阪神地区が適用外になっている。この地域限定条件を外すとともに、兼務発令を可能にすることで、技術・家庭科など不足が顕著な専門教員の充足には対応できるため、早急に制度を改善されたい。
- ・兵庫県教員採用選考試験の1次選考試験である筆記試験（一般教養・教科専門）実施の必要性について検証を行われたい。

要望2. ひょうご北摂里山ライド 2022 の開催について

<要望趣旨>

2021 年度に初めて実施された「ひょうご北摂里山ライド」は、参加者 300 名の規模で開催され、兵庫県の北摂地域の里山の魅力を内外に発信すると共に、サイクルスポーツの振興に寄与する機会となった。令和 4 年度においても、継続実施することで、川西市はもとより兵庫県の北摂地域における観光振興につなげる共に、令和 3 年度での課題を検証した上で、さらなるスケールアップと魅力の創造が求められる。

<要望内容>

- ・ひょうご北摂里山ライド 2022 を開催いただきたい。
- ・サイクリングロードの整備をしていただきたい。
- ・兵庫県各地で開催されているサイクリングイベントを一つにとりまとめた「ツール・ド・ひょうご」の開催を検討いただきたい。

要望3. 地域と学校の連携・協働体制構築事業の補助金について

参考資料：令和 4 年度予算編成に係る県政要望

要望4. 「スポーツクラブ21ひょうご」補助金について

要望5. ヤングケアラー支援推進について

以上